

第3章 伊豆箱根鉄道大雄山線

第1節 9月9日(土):大雄山～小田原 晴れ

大雄山(10:30)～富士フィルム前(?)～和田河原(?)～塚原(?)～岩原(?)～相模沼田(?)～飯田岡(?)～穴部(?)～五百羅漢(15:15)～井細田(?)～緑町(?)～小田原(16:00)

※当時のわいわい会は駅舎立ち寄らないことも多々あった。

第23回わいわい会(高松一高同窓の歩き会)は、平成18年9月9日(土)晴の中、9.6kmある伊豆箱根鉄道大雄山線つたい歩きを10名にて実施。5時半に起床、愛犬セブンの散歩をさせ、ウォーキングの準備をする。小田急相模原駅まで家内に送ってもらい、7時57分発の電車で小田原に向かう。小田原駅手前で大崎先輩と出会う。大雄山線小田原駅を9時11分の電車に乗ることができ、9時半過ぎに大雄山駅に到着。大雄山線の中で鶴巻さんより本日欠席の連絡をもらう。中島先輩が既に大雄山駅に到着されていた。次の電車で、西田さん、久米さん、溝縁さんが、その次の電車で高田さん、坂本さん、谷本さんが来られる。10時丁度位に宇賀神さんから「今小田原駅」との連絡をもらう。それで、宇賀神さんの到着を待ち出発することにする。10時半過ぎとなる。駅前の熊に跨っている金太郎の像の前で記念写真を撮影後、小田原駅に向かって出発する。



本日のルートは、大雄山駅～和田河原駅～小田急栢山駅～二宮尊徳記念館～小田急富水駅～相模沼田駅～小田原駅である。溝縁さんの先導により県道 74 号線沿いを歩く。11 時 20 分、県道 715 号沿いにある大雄山線の踏切を通過。11 時 40 分、小田急栢山駅を通過。駅前には明德義塾の学習塾があった。栢山から県道 720 号線を歩く。二宮尊徳記念館には 12 時到着。土間・台所・座敷の 3 構成からなる藁葺き家の生家の前で記念写真。藁葺き家の中はとても涼しかった。台所にある囲炉裏、黒く太い柱がとても印象的であった。生家の前には、尊徳記念館があり、200 円の入場料を支払い展示室に入る。

ビデオによる尊徳の一生が、次の 5 部編にて構成されていた。

- ① 少年時代の金次郎 ② 青春時代の金次郎 ③ 桜町の村づくり
- ④ 田原藩内の村づくり ⑤ 各地の村づくりと弟子たち

①～③まで見る。勤勉と儉約の姿が現されていた。④と⑤は時間の都合上割愛。本日のビデオを通じ、“積小為大”という言葉も教えてもらった。

50 分程度の館内での休憩は、暑くなりかけた私達の体を冷やしてくれた。尊徳記念館は佐原にある伊能忠敬館と同様感動した。13 時

前に記念館を出、昼食のためバーミヤンに移動する。昼時間帯のため10分程度待つ、やっと冷たい生ビールにありつけた。最高の味だった。1時間位歓談し、バーミヤンを後にする。



小田急栢山駅

二宮尊徳生家



二宮尊徳館

14時30分、川に沿った遊歩道をつたい歩き。黄色のコスモスを見つける。酒匂川が立ち塞がり、水道橋踏切を渡り、水源地入口交差点より県道74号に戻る。15時、穴部駅近郊に到着。そして、15時15分、五百羅漢駅に到着。15時30分、井細田歩道橋を通過し、小田原商店街を通り、大雄山小田原駅には16時到着する。駅前で10名全員の踏破の記念写真を撮る。反省会は駅ビルのBECK'S喫茶店にて1時間位行なう。17時過ぎから2次会を小田原駅前の白木屋(坂

本・谷本・大崎・中島・宇賀神・檜原)で行なう。自宅には21時25分到着。万歩計は31,167歩だった。



五百羅漢駅

小田原駅